

- 1 はじめに
- 2 年間指導計画における単元の位置づけ
- 3 児童の実態
- 4 単元について
- 5 本時の授業について**
- 6 単元の評価・次の単元や次年度への展望
- 7 授業研究を終えて

5 本時の授業について

次	時	日時	学習内容	指導内容（学習指導要領か学習内容表から）
1	5	7/5 7/6 7/7 7/8 7/9	○「ブレーメンの音楽隊」について知ろう。 ○劇の準備をしよう。 ・配役を決める。 ・お面や小道具を作る。 ・役割を決める。 ・招待状を書く。 ・台詞を読む練習をする。	国語科 読むこと 聞くこと・話すこと 生活科 日課・予定 生活科 役割 図画工作科 表現
2	4	7/12 7/13 7/14 7/15 【本時】	○通し練習をしよう。 ○リハーサルをしよう。	国語科 読むこと 聞くこと・話すこと 生活科 役割
3	1	7/16	○お客さんの前で、劇をしよう。	国語科 読むこと 聞くこと・話すこと 生活科 役割
4	1	7/19	○ふりかえりをしよう。	国語科 書くこと 図画工作科 表現

1	はじめのあいさつをする。
2	前時の動画を見て、ふりかえりをする。
3	道具を持って、劇をする会場に移動する。
4	リハーサルをする。
5	リハーサルを見た教師から感想を聞く。
6	道具を片づけて、教室に移動する。
7	一人ずつ、今日のふりかえりをする。
8	おわりのあいさつをする。

5 本時の授業について

2 前時の動画を見て，ふりかえりをする。

5 本時の授業について 授業の展開

1	はじめのあいさつをする。
2	前時の動画を見て，ふりかえりをする。
3	道具を持って，劇をする会場に移動する。
4	リハーサルをする。
5	リハーサルを見た教師から感想を聞く。
6	道具を片づけて，教室に移動する。
7	一人ずつ，ふりかえりをする。
8	終わりのあいさつをする。

小学部分科会 3



「すごい! じょうず」 「〇〇したらいいよ♪」 の札

小学部分科会 28

動画① 「札を使った活動」



5 本時の授業について

4 リハーサルをする。

5 本時の授業について

授業の展開

1	はじめのあいさつをする。
2	前時の動画を見て、ふりかえりをする。
3	道具を持って、劇をする会場に移動する。
4	リハーサルをする。
5	リハーサルを見た教師から感想を聞く。
6	道具を片づけて、教室に移動する。
7	一人ずつ、ふりかえりをする。
8	おわりのあいさつをする。

小学部分科会 3



児童aについて

○実態

- ・ 小学部3年 自閉スペクトラム症の男子
- ・ 初めての活動や自信がない活動は苦手。見通しをもつとスムーズに活動できる。
- ・ 平仮名の読みに苦手意識がある。
- ・ かかわりの少ない大人には話しかけることを恥ずかしがることが多い。発語が少ない児童とどのようにかかわってよいか分からない様子が見られる。
- ・ 人前での発表は緊張して声が小さくなったり、言葉に詰まったりすることがある。

5 本時の授業について

児童aについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
①「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、ライオンの役になりきり、悲しい場面では悲しそうな動作をしながら台詞を言ったり、泥棒を驚かす場面では驚かすような声で台詞を言ったりすることができる。（国語科 小学部2段階）	△	悲しい場面と驚かす場面の違いは理解しているが、台詞を読んで言うことで精一杯で、気持ちを込めて言うことは難しかった。驚かす「がおー」は鳴き声のみだったので、驚かすように大きな声を出して言うことができた。



動画② 「a児童 悲しい場面」



5 本時の授業について

児童aについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
①「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、ライオンの役になりきり、悲しい場面では悲しそうな動作をしながら台詞を言ったり、泥棒を驚かす場面では驚かすような声で台詞を言ったりすることができる。（国語科 小学部2段階）	△	悲しい場面と驚かす場面の違いは理解しているが、台詞を読んで言うことで精一杯で、気持ちを込めて言うことは難しかった。驚かす「がおー」は鳴き声のみだったので、驚かすように大きな声を出して言うことができた。



動画③ 「a児童 どろぼうを驚かす場面」



5 本時の授業について

児童aについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
①「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、ライオンの役になりきり、悲しい場面では悲しそうな動作をしながら台詞を言ったり、泥棒を驚かす場面では驚かすような声で台詞を言ったりすることができる。（国語科 小学部2段階）	△	悲しい場面と驚かす場面の違いは理解しているが、台詞を読んで言うことで精一杯で、気持ちを込めて言うことは難しかった。驚かす「がおー」は鳴き声のみだったので、驚かすように大きな声を出して言うことができた。



5 本時の授業について

児童aについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
②「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、友達の様子を見ながら、全員で台詞を言う際の掛け声をかける役割を果たすことができる。(生活科 小学部2段階)	△	劇の中で友達の様子を見て掛け声をかけることは難しかったが、役割の理解はできており、劇をする前に教室で練習をした時には、自分から周りの友達の様子を見渡して「じゅんびオッケー？」と掛け声をかける姿が見られた。



動画④ 「a児童 じゅんびオツケーの掛け声の場面」



5 本時の授業について

児童aについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
②「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、友達の様子を見ながら、全員で台詞を言う際の掛け声をかける役割を果たすことができる。（生活科 小学部2段階）	△	劇の中で友達の様子を見て掛け声をかけることは難しかったが、役割の理解はできており、劇をする前に教室で練習をした時には、自分から周りの友達の様子を見渡して「じゅんびオッケー？」と掛け声をかける姿が見られた。



5 本時の授業について

児童dについて

○実態

- ・小学部4年 ダウン症候群の男子
- ・今年度より本校に転入。少しずつ同じ学級の友達と関わる場面も増えてきた。
- ・本を読むことや読み聞かせが好き。
- ・「ありがとう」の「とー」など言葉の語尾のみであいさつをすることがある。
- ・話しかけられると頷きや首を振ることで意思を伝えることが多い。
- ・歌やダンスは、覚えるまで人前で行うことに抵抗があるが、流れや動きが分かると、楽しみながら取り組むことができる。

5 本時の授業について

児童dについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
①「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、ゾウの役になりきり、他の役の友達に「いっしょにブレーメンにいこう」という台詞を言う際に、友達の目を見たり、友達のところへ駆け寄ったりして、動作をすることができる。(国語科 小学部1段階)	○	「それじゃあ、いっしょにブレーメンにいこうよ」の台詞に合わせて、他の友達を誘うような動作を学級全員で考えた。台詞の意味が分かっていて、自分から友達の方を向こうことができていた。



動画⑤ 「d 児童 友だちの方を向く場面」



5 本時の授業について

児童dについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
①「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、ゾウの役になりきり、他の役の友達に「いっしょにブレーメンにいこう」という台詞を言う際に、友達の目を見たり、友達のところへ駆け寄ったりして、動作をすることができる。(国語科 小学部1段階)	○	「それじゃあ、いっしょにブレーメンにいこうよ」の台詞に合わせて、他の友達を誘うような動作を学級全員で考えた。台詞の意味が分かっていて、自分から友達の方を向こうことができていた。



5 本時の授業について

児童dについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
②「ブレームンのB組音楽隊」の劇をする中で、おわりのことばの役割を果たすことができる。	○	おわりのことばの音源を流す役割の場面では、BGMが終わるのを待って自分から動く出すことができていた。



動画⑥ 「d児童 音源を流す役割の場面」



5 本時の授業について

児童dについて

○本時の個人目標および評価と様子

個人目標	評価	授業の様子
②「ブレーメンのB組音楽隊」の劇をする中で、おわりのことばの役割を果たすことができる。	○	おわりのことばの音源を流す役割の場面では、BGMが終わるのを待って自分から動く出すことができていた。

